

科目区分	専門分野	単位数・時間数	2単位・90時間	開講時期	2年・後期～ 3年 後期
授業科目名	小児看護学実習			授業形態	臨地実習
担当教員	武森勢津子		実務経験	○看護師	
授業概要	小児期にある対象とその家族を理解し、個々の健康レベルや成長。発達段階に応じた看護が実践できる。				
学習目的	小児の成長発達段階を理解し、あらゆる健康状態の小児と家族に対する看護を学ぶ。				
到達目標	1. 小児の成長発達段階の特徴をふまえ、身体的・精神的・社会的側面から小児を理解できる。 2. 小児のおかれている環境や状況（健康状態や入院、治療）が対象の成長発達や生活状況、家族に及ぼす影響を理解し、成長発達を促す援助ができる。 3. 対象を取り巻く保健医療福祉チームの連携の中で小児看護の役割、継続看護の実践を必要性が理解できる。				
授業内容	【保育園実習】 1. 健康な乳幼児の成長発達段階の特徴を理解する。 2. 乳幼児の成長発達段階に応じた基本的な生活習慣を理解する。 3. 乳幼児の成長発達段階に応じた遊びの意義、重要性を理解する。 4. 乳幼児の成長発達段階に応じたコミュニケーションの能力を理解する。 5. 保育園における安全管理について理解する。 【病院実習】 1. 小児科外来に受診および小児科病棟に入院する子どもが理解する。 2. 健康障害をもつ子どもとその家族に応じた看護を理解する。 3. 指導を受けながら子どもおよびその家族に必要な看護技術を実施する。 4. 子どもとその家族を取り巻く保健医療福祉チームの連携と看護師の役割を理解する。 【総合支援学校実習】 1. 総合支援学校の概要を理解する。 2. 生活や授業の実践を知り、障害のある子どもについて理解する。 3. 障害のある子どもに関わるそれぞれの専門職が果たす役割を理解し、他の職種との連携における看護師の役割について考える。 実習期間： 保育園実習 4日間 病院実習 5日間 総合支援学校実習 2日間 実習時間： 保育園実習・総合支援学校実習 8：30～16：00 病院実習 8：00～15：30 実習展開については、それぞれの実習要項参照				
評価方法	それぞれの実習評価基準に従い、実習での取り組み、実習記録、実習前から実習後までの学習状況から学生・教員（臨地実習指導者所見）で評価を行い総合評価がC以上で合格とする。				
教科書 参考図書等	系統看護講座 専門分野 小児看護学 1 小児看護学概論、小児臨床看護総論（医学書院） 系統看護学講座 専門分野 小児看護学 2 小児臨床看護各論（医学書院） 写真でわかる小児看護技術アドバンス（インターメディカ）				
備考					